

教職課程 履修カルテ

入 学 年 度	2026 年度（令和 8 年度）	
所属学部・学科等	学部	学科
学 籍 番 号		
氏 名		
取得を希望する教員 免許状の学校種・教科		
備 考		



志學館大学

「履修カルテ」について

1 「履修カルテ」の目的とは

- (1) 教員免許状取得における科目の履修状況を通して、教員として身につけるべき必要な知識技能について、総合的に把握するものである。
- (2) 各年次において、教職課程の履修状況や知識技能の習得状況を把握することにより、教員として必要な資質能力や努力すべき改善点などの課題等を早期に発見し、その克服に向けて、各自が教員を目指す者として取り組むべき手がかりとなるものである。
- (3) 4年次後期の「教職実践演習」（「教職に関する科目」）において、教職課程の履修状況や教員として身につけるべき知識技能の習得状況を総合的に自己分析し評価するものである。

2 一連の流れについて

「履修カルテ」とは、上記の目的にあるように、教員を目指すに必要な教職関連科目について履修状況と理解度を顧みるための資料となる。

したがって、本学の教職課程を履修する者は、下記に示す「履修カルテ」の【スケジュール】に基づきながら、学期ごとに教職関連の履修状況を確認し、教員免許状取得に向けて自己理解を深めその資質を高めていくこと。

【対象者】 教職課程エントリー者

【配布時期】 2年次前期

【提出方法】 2年生以降、学期終了後ごとに提出すること。

提出締切日は、各学期の成績公開日から1週間後までとする。

【提出先】 学務課

【返却方法】 下記の【スケジュール】表に基づき掲示にて告知する。

【スケジュール】

	2年	3年	4年
4月	「履修カルテ」配布	教職オリエンテーションで確認	教職オリエンテーションで確認
6月		教員がチェックし返却	教員がチェックし返却
9月	1年次分と2年次前期分を記入し提出	3年次前期分を記入し提出	4年次前期分を記入し提出。 「履修カルテ」を用いて 「教職実践演習」開始
12月	教員がチェックし返却	教員がチェックし返却	
2月	2年次後期分を記入し提出	3年次後期分を記入し提出	「教職実践演習」修了と同時に「履修カルテ」終了

3 内容と記入方法

(1)「教職関連科目の履修」シート

- A** 「教育の基礎的理解に関する科目等」(p4～p5を参照)
B 「教科及び教科の指導法に関する科目」(p6～p7を参照)
C 「大学が独自に設定する科目」(p8を参照)
D 「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」(p9を参照)

◆<記入方法>

教員免許取得に係わる「教職関連科目の履修状況」を記録することが目的である。

下記【表1】の「中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状」の履修要件(下記の**A**「教育の基礎的理解に関する科目等」、**B**「教科及び教科の指導法に関する科目」、**C**「大学が独自に設定する科目」、**D**「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」)に基づいて、学期ごとに必要事項欄(授業科目名、修得単位、修得年度、教員名、成績評価、学んだことや今後の課題等について)を記録していく。

【表1】「中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状」の履修要件

免許状の種類	基礎資格	本学において修得することを必要とする最低修得単位数			
		D 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目	A 教育の基礎的理解に関する科目等	B 教科及び教科の指導法に関する科目	C 大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状(保健体育)	学士の学位を有すること	日本国憲法 2 単位 体育 3 単位 外国語コミュニケーション 4 単位 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2 単位	37 単位	33 単位	4 単位
高等学校教諭一種免許状(保健体育)	学士の学位を有すること	日本国憲法 2 単位 体育 3 単位 外国語コミュニケーション 4 単位 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2 単位	31 単位	33 単位	12 単位

(2)「自己評価」シート (教員としての資質能力に関する自己評価)

- ① 「自己評価」シート(数値式による自己評価) (p10～p11を参照)
 ② 「自己評価」シート(自由記述式による自己評価) (p12～p13を参照)

◆<記入方法>

「教員としての資質能力」について、自己を分析し自己評価することが目的である。自己評価方法の一つ目としては、学期ごとに「教員としての資質能力」項目に基づき、数値的に自己理解を深めること(p10～p11)。二つ目には、今後の課題等について自己の考えを明確に記述することにより自己理解を深めること(p12～p13)。

4 留意事項

- (1)「履修カルテ」の提出がない場合は、「教育実習 I」及び「教職実践演習」(4年次)の履修が認められないことがある。
 (2)「履修カルテ」は、4年次「教職実践演習」において基礎資料となるため失くすことのないように十分注意すること。
 (3)「履修カルテ」は、教職エントリーした年次から教員免許取得まで継続して使用するため大切に保管し取り扱うこと。

教職課程 履修カルテ(1) - A

教職課程の履修状況

入学年度	所属学部 ・ 学科等	学籍番号	氏 名	取得を希望する教員免許状の学校種・教科
	学部 学科			

(1) - A 「教育の基礎的理解に関する科目等」の履修シート

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	必要単位	本学において開講する授業科目	単位数	必・選	単位修得年度	教員名	評価	「教員としての資質能力」 (p10～p11の「自己評価シート」カテゴリー番号を参照)					学んだことや今後の課題等について	教員確認
								A	B	C	D	E		
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	教育原理	2	必修				○						
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	2	教職概論	2	必修				○	○		○			
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	2	教育行政概論	2	必修				○						
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2	教育・学校心理学	2	選必						○				
		発達心理学	2	選必							○			
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	特別支援教育概論	2	必修						○				
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	2	教育課程論	2	必修				○				○		
道徳の理論及び指導法 ※(中一種免必修)	2	道徳教育の指導法Ⅰ	2	必修							○	○		
		道徳教育の指導法Ⅱ	2	必修							○	○		
総合的な学習(探究)の時間の指導法	2	総合的な学習の時間の指導法	2	必修							○	○		

特別活動の指導法	2	特別活動論	2	必修							○	○		
教育の方法及び技術	2	教育の方法と技術	2	必修							○	○		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	必修							○	○		
生徒指導の理論及び方法	2	生徒指導の理論と方法	2	必修						○	○			
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	学校臨床と教育相談	2	必修						○	○			
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	進路指導の理論と方法	2	必修							○	○		
教育実習	1	教育実習Ⅰ	1	必修					○	○	○	○	○	
※（高一種免3単位）	2	教育実習Ⅱ	2	必修					○	○	○	○	○	
※（中一種免5単位）	2	教育実習Ⅲ（中一種免必）	2	必修					○	○	○	○	○	
教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	必修					○	○	○	○	○	

* 「中一種免（保健体育）」取得のために必要な「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得総単位数：本学が定める最低修得単位数 37 単位以上

* 「高一種免（保健体育）」取得のために必要な「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得総単位数：本学が定める最低修得単位数 31 単位以上

* 「必修」「選択」の科目については「学生便覧」を参照

■ 「教育の基礎的理解に関する科目等」修得単位数	2年		3年		4年	
	前期（ ）単位	後期（ ）単位	前期（ ）単位	後期（ ）単位	前期（ ）単位	後期（ ）単位

■ 「教育の基礎的理解に関する科目等」総単位数（ ）単位

教職課程 履修カルテ(1) - B

教職課程の履修状況

入学年度	所属学部 ・ 学科等	学籍番号	氏 名	取得を希望する教員免許状の学校種・教科
	学部 学科			

(1) - B 「教科及び教科の指導法に関する科目」の履修シート

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分	必要 単位	本学において開講する 授業科目	単 位 数	必 ・ 選	単位修 得年度	教員名	評 価	「教員としての資質能力」 (p10～p11の「自己評価シ ート」カテゴリー番号を参照)					学んだことや今後の課題等について	教員 確認
								A	B	C	D	E		
体育実技	20	体育実技Ⅰ	1	必修							○	○		
		体育実技Ⅱ	1	必修							○	○		
		体育実技Ⅲ	1	必修							○	○		
		体育実技Ⅳ	1	必修							○	○		
「体育原理、体育心理学、 体育経営管理学、体育社 会学、体育史」・運動学(運 動方法学を含む。)		スポーツ心理学	2	必修							○	○		
		運動方法学	2	必修							○	○		
		スポーツ社会学	2	必修							○	○		
生理学(運動生理学を含 む)		運動生理学	2	必修							○	○		
		人体の構造と機能及び疾病	2	必修							○	○		
衛生学・公衆衛生学		衛生学	2	必修							○	○		

学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	公衆衛生学	2	必修								○	○		
	学校保健Ⅱ	2	必修								○	○		
	精神保健Ⅰ	2	必修								○	○		
	救急処置Ⅰ	2	必修								○	○		
	救急処置Ⅱ	1	必修								○	○		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中 8 高 4	保健体育科教育法Ⅰ	2	必修							○	○		
		保健体育科教育法Ⅱ	2	必修							○	○		
		保健体育科教育法Ⅲ	2	必修							○	○		
		保健体育科教育法Ⅳ	2	必修							○	○		

* 「中一種免（保健体育）」取得のために必要な「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得総単位数：本学が定める最低修得単位数 33 単位

* 「高一種免（保健体育）」取得のために必要な「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得総単位数：本学が定める最低修得単位数 33 単位

* 「必修」「選択」の科目については「学生便覧」を参照

■ 「教科及び教科の指導法に関する科目」 修得単位数	2年		3年		4年	
	前期（ ）単位	後期（ ）単位	前期（ ）単位	後期（ ）単位	前期（ ）単位	後期（ ）単位

■ 「教科及び教科の指導法に関する科目」 総単位数（ ）単位

教職課程 履修カルテ(1) - C

教職課程の履修状況

入学年度	所属学部 ・ 学科等	学籍番号	氏 名	取得を希望する教員免許状の学校種・教科
	学部 学科			

(1) - C 「大学が独自に設定する科目」の履修シート

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分	必 要 単 位	本学において開講する 授業科目	単 位 数	必 ・ 選	単 位 修 得 年 度	教員名	評 価	学んだことや今後の課題等について	教員 確認	
大学が独自に設定する科目	中 4 高 12	学校インターンシップA	1	選択						
		学校インターンシップB	2	選択						

* 「学校インターンシップA」「学校インターンシップB」は選択科目であり、「大学が独自に設定する科目」の単位となる。

■ 「大学が独自に設定する 科目」 修得単位数	2 年		3 年		4 年	
	前期 () 単位	後期 () 単位	前期 () 単位	後期 () 単位	前期 () 単位	後期 () 単位

■ 「大学が独自に設定する科目」の総単位数 () 単位

教職課程 履修カルテ(1) - D

教職課程の履修状況

入学年度	所属学部 ・ 学科等	学籍番号	氏 名	取得を希望する教員免許状の学校種・教科
	学部 学科			

(1) - D 「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に指定する科目」

免許法施行規則に指定する科目及び単位数	単位数	本学において開講する 授業科目	単 位 数	選 ・ 必	単位修 得年度	教員名	評価	学んだことや今後の課題等について	教員 確認
日本国憲法 ※1	2	日本国憲法	2	選択					
		憲法 I	2	選択					
		憲法 II	2						
体育	2	スポーツと現代社会	2	必修					
		スポーツ&エクササイズ	1	必修					
外国語コミュニケーション ※2	2	「 」 I	2	選択					
		「 」 II	2	選択					
数理、データ活用及び人工知能に関する 科目又は情報機器の操作	2	情報技術演習	2	必修					

注記 ※1 日本国憲法は、「日本国憲法」(2単位)又は「憲法 I」・「憲法 II」(4単位)のいずれかを選択必修すること。

※2 外国語コミュニケーションは、「英語語 I・II」「ドイツ語 I・II」「フランス語 I・II」「中国語 I・II」「韓国語 I・II」のいずれかの外国語(I・II)の2科目(4単位)を選択必修で履修すること。

■ 「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に指定する科目」の総単位数：() 単位

教職課程 履修カルテ(2) - ①

身につけたい
「教員としての資質能力」

入学年度	所属学部 ・ 学科等	学籍番号	氏 名	取得を希望する教員免許状の学校種・教科
	学部 学科			

(2) - ① 「自己評価」シート (数値式による自己評価)

※履修年次に自己評価し達成度や課題について省察しよう。 (自己評価 : 4・・・十分理解できた 3・・・やや理解できた 2・・・どちらかという理解不足 1・・・理解不足)

教員としての資質能力			自 己 理 解		
カテゴリー	具体的項目	内 容	2年次	3年次	4年次
A 教職の理解	1	教職の意義(使命感・倫理観等)に関する理解	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	2	教育の理念、制度、歴史等に関する理解	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	3	教育方法に関する理解	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	4	学校経営およびその課題に関する理解	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
B 連携・協力・自己改善力	5	協働実践力	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	6	保護者・地域社会との連携力	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	7	コミュニケーション力	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	8	自己改善力	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
C 学習者理解	9	学習者の心理・発達に関する理解	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	10	カウンセリングに関する理解	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	11	特別支援教育に関する理解	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1

D 構想力・展開力・評価力等	12	学級経営に関する構想力	学級経営の在り方に関する基礎的な知識を身に付けており、学級等の集団及び集団と個のかかわり方などについて構想することができる。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	13	生徒指導に関する構想力	個々人の発達課題の把握や周辺行動及びその対応等の理解を深めるとともに、積極的な生徒指導の在り方について構想することができる。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	14	教材分析力及び授業デザイン力	教材を分析する能力を身に付けており、教材研究に基づいて授業をデザインすることができる。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	15	授業展開力及び授業評価力	基礎的な教育技術や教育評価について理解し、それらを活かした授業実践と、授業の評価・改善を行うことができる。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	16	情報収集力、分析力、活用力	情報を収集し、整理・分析することを通して、その情報を活用していくことができる。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
E 教科・領域等の内容理解	17	各教科などのカリキュラムに関する理解	教育課程及びその領域や学習指導要領について、基礎的な知識を身に付けている。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	18	各教科内容の基礎的知識の理解及び技能の習得	教科内容の背景となる学問領域について、基礎的な知識や技能を身に付けている。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	19	道徳、特別活動、総合的な学習の時間等に関する理解	道徳、特別活動、総合的な学習の時間など、教科以外の教育活動について、その指導内容や指導方法に関する基礎的な知識を身に付けている。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
				教員確認		

教職課程 履修カルテ(2)-②

身につけたい
「教員としての資質能力」

入学年度	所属学部 ・ 学科等	学籍番号	氏 名	取得を希望する教員免許状の学校種・教科
	学部 学科			

(2) - ② 「自己評価」シート (自由記述式による自己評価)

学年	学期	学生による自己分析	教員所見
2年	前期		
2年	後期		
3年	前期		
3年	後期		
4年	前期		
4年	後期		

教職課程 履修カルテ(2) - ②

◆【4年次に記入】教職や進路について、総合的に自己を振り返り書く。記述の最後に記入した年月日を書く。

◆教職を目指す上で自己の課題について、総合的に自己を分析して書く。

--

◆学外における教職に関する体験等についての概要を書く。(小・中学校や地域の子どもたちへの支援、社会教育活動、ボランティア活動経験等の状況)

--

◆取得を希望している教員免許状を書く。

--

◆卒業後の進路について、自分の考えを書く。

--

() 年次 年 月 日

教員所見等